



# CHAPTER 3

## システム コンフィギュレーションの概要

Cisco Unified Communications システム全体を設定する際は、まずシステム レベルのコンポーネントの設定から始め、個々のデバイスの設定へと作業を進めます。たとえば、デバイス プール、ルート リスト、ロケーション、コーリング サーチ スペースなどの関連コンポーネントを設定後、これらの設定済みのコンポーネントを使用して電話機および回線を設定します。

この章では、Cisco Unified Communications ネットワークを構成するコンポーネントを設定する順序、つまり Cisco Unified Communications システムを設定する際の全体的なフローを説明します。この章の構成は、次のとおりです。

- 「基本設定のフロー」(P.3-1)
- 「参考情報」(P.3-4)

### 基本設定のフロー

表 3-1 では、IP テレフォニー システムを設定するときに必要な一般的な作業手順を示しています。特定の機能やコンポーネントを使用しない場合は、その手順は省略してください。この表に示す設定手順では、多少の柔軟性を持たせてあるため、場合によっては、複数のステップを交互に実行したり、あるステップに何度か戻ったりして、順序を変えて設定作業を進めることも可能です。

表 3-1 全体的な設定チェックリスト

設定ステップ		手順および関連項目
ステップ 1	Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアを 1 台のサーバにインストールします。このサーバが最初のノードで、データベース サーバとして機能します。  他のサーバをインストールする前に、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [サーバの設定 (Server Configuration)] でそのノードを必ず定義してください。この操作は、セキュリティ上必要です。	『Installing Cisco Unified Communications Manager Release 8.0(1)』  『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「 <a href="#">サーバの設定</a> 」
ステップ 2	Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアを他のサーバにそれぞれインストールします。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「 <a href="#">サーバの設定</a> 」
ステップ 3	最初のノード上で、必要に応じてサービスを有効にします。	『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』

表 3-1 全体的な設定チェックリスト (続き)

設定ステップ		手順および関連項目
ステップ 4	<p>システム レベルの設定値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager (自動登録の有効化や開始電話番号 (DN) の設定など、Cisco Unified Communications Manager 固有の要素が必要なことに注意してください)</li> <li>• Cisco Unified Communications Manager グループ</li> <li>• 日時グループ</li> <li>• リージョン</li> <li>• ソフトキー テンプレート (ソフトキー テンプレートはデバイス プール設定の必須フィールドを示しますが、標準 テンプレート オプションも提供します)</li> <li>• デバイス デフォルト</li> <li>• エンタープライズ パラメータ</li> <li>• ロケーション</li> </ul>	<p>「システム レベルのコンフィギュレーション設定」(P.5-1)</p>
ステップ 5	<p>ダイヤル プランを設計し、設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• AAR グループ</li> <li>• アプリケーション ダイヤル ルール (オプションで、Cisco Unified Communications Manager Assistant および Cisco WebDialer が使用します)</li> <li>• パーティション</li> <li>• コーリング サーチ スペース</li> <li>• ルート フィルタ</li> <li>• ルート グループおよび回線グループ</li> <li>• ルート/ハント リスト</li> <li>• ルート パターン (ルート パターンをゲートウェイに割り当てる場合は、ルート パターンをゲートウェイ用に設定する前にゲートウェイを作成する必要があります)</li> <li>• トランスレーション パターン</li> </ul>	<p>「パーティションおよびコーリング サーチ スペース」(P.14-1)</p> <p>「ルート プランの概要」(P.16-1)</p>
ステップ 6	<p>メディア リソースを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 会議ブリッジ</li> <li>• トランスコーダ</li> <li>• アナウンサー</li> <li>• メディア ターミネーション ポイント</li> <li>• 保留音オーディオ ソース</li> <li>• 保留音サーバ</li> <li>• メディア リソース グループ</li> <li>• メディア リソース グループ リスト</li> </ul>	<p>「メディア リソースの管理」(P.22-1)</p> <p>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「メディア リソース グループの設定」</p>

表 3-1 全体的な設定チェックリスト (続き)

設定ステップ		手順および関連項目
ステップ 7	デバイス プールの設定値を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager グループ</li> <li>• 日時グループ</li> <li>• リージョン</li> <li>• ソフトキー テンプレート</li> <li>• SRST 参照先</li> <li>• 自動登録用コーリング サーチ スペース</li> <li>• メディア リソース グループ リスト</li> <li>• ネットワーク保留 MOH オーディオ ソース</li> <li>• ユーザ保留 MOH オーディオ ソース</li> <li>• ネットワーク ロケール</li> <li>• ユーザ ロケール</li> </ul>	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「 <a href="#">デバイス プールの設定</a> 」
ステップ 8	次のいずれかのボイス メッセージ システムをインストールし、設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 外部 (シスコ以外の) ボイス メッセージ システム</li> <li>• Cisco Unity ボイス メッセージ システム</li> <li>• Cisco Unity Connection ボイス メッセージ システム</li> </ul>	「 <a href="#">SMDI ボイスメールの連動</a> 」(P.30-1) Cisco Unity のアドミニストレーション ガイド Cisco Unity Connection のアドミニストレーション ガイド
ステップ 9	ミーティング番号/パターンを設定します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「 <a href="#">ミーティング番号/パターンの設定</a> 」
ステップ 10	メッセージの受信番号を設定します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「 <a href="#">メッセージ受信の設定</a> 」
ステップ 11	次の機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• コール パーク、ダイレクト コール パーク</li> <li>• コール ピックアップ、グループ コール ピックアップ、他グループ ピックアップ、ダイレクト コール ピックアップ、ビジョー ランプ フィールド (BLF) コール ピックアップ</li> <li>• 割り込み</li> <li>• 即時転送</li> <li>• Cisco Unified IP Phone サービス</li> <li>• Cisco エクステンション モビリティ</li> </ul>	『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「 <a href="#">コールパークの設定</a> 」 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「 <a href="#">コールピックアップ</a> 」 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「 <a href="#">割り込みとプライバシー</a> 」 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「 <a href="#">即時転送の設定</a> 」 「 <a href="#">Cisco Unified IP Phone サービス</a> 」(P.35-1) 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「 <a href="#">Cisco エクステンション モビリティ</a> 」

表 3-1 全体的な設定チェックリスト (続き)

設定ステップ		手順および関連項目
ステップ 12	ゲートウェイをインストールし、設定します。	『Cisco Unified Communications Manager 音声ゲートウェイの概要』 (P.38-1)
ステップ 13	Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用してエンド ユーザを追加します (LDAP サーバとの同期化が無効になっている場合)。 エンド ユーザのクレデンシャルを管理します。 Cisco Unity Connection ボイスメールボックスを作成します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「エンド ユーザの設定」 『User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection』
ステップ 14	電話機を設定およびインストールしてから、ユーザを電話機に関連付けます。また、電話ボタン テンプレートとソフトキー テンプレートを設定します。	『Cisco Unified IP Phone』 (P.42-1) 『ディレクトリの概要』 (P.19-1) 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「エンド ユーザの設定」 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「電話ボタン テンプレートの設定」 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「ソフトキー テンプレートの設定」 Cisco Unified IP Phone のアドミニストレーション ガイド
ステップ 15	Computer Telephony Integration (CTI; コンピュータ テレフォニー統合) アプリケーションのサポートを使用可能にし、必要な CTI アプリケーションをインストールおよび設定します。	『コンピュータ テレフォニー統合』 (P.44-1) アプリケーション付属のマニュアル

## 参考情報

### 関連項目

- 表 3-1 を参照してください。

### 参考資料

- 『Installing Cisco Unified Communications Manager Release 8.0(1)』
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』
- Cisco Unified IP Phone のアドミニストレーション ガイド